

最近の事例で増加傾向にあるのは、夫や妻が「**家を出て行ってしまった。浮気**

**相手と同棲しているようだ。。。**」というケースです。

ほんの少し前なら、こういうケースは少なかったのですが、直感的と言うか直情的な行動を取る人が増えているように思います。

こういうケースで、最も深刻な問題は、お給料を入れてくれなくなるという事ではないでしょうか？現在は、まだ大丈夫でもいつお給料を家計に入れてくれなくなるか分かりません。

放っておいても何とかなる・・・というレベルの話ではありませんので一刻も早い手を打つことを考える必要があります。

離婚を前提として、生活保障を含めた慰謝料をきっちり貰うための話し合い

浮気相手と別れて家に帰ってもらうための話し合い

このような話し合いの機会を早急に持つべきですが、だいたいの場合は配偶者の両親などが絡んできて思わぬ方向へ話が進んでしまうものです。

浮気をしたにも関わらず、浮気をしたのを自分の所為にされてしまう。

結局は、お金が欲しいんでしょ！と何故か自分が悪者扱いにされる。

そこで・・・話し合いを有利に進める方法として探偵の活用があるのです。

探偵の調査を上手く活用するには・・・？

口で言っても伝わりにくい状況がビジュアル化されることで、両親も口を挟みにくくなります！（嘘のような本当の話）

離婚をする場合であれば、慰謝料をちゃんと払わないなら裁判を起こすという意味表示ができます！（いくら本人が認めていても、証拠が提出できないと裁判になりません。）

浮気相手への慰謝料請求の手続きも簡単になります。（証拠が無いと、証言だけが頼りですが、相手の反証を崩せないと最悪裁判に負けます）

どんな証拠があればいいのか？

同棲しているならば、同棲先へ「帰宅」するところ、同棲先から「出勤するところ」の1セット（つまりたったの2日間）調査すれば、裁判で十分に闘える証拠になります。

このコースがオススメ！

相手の住所まで既に分かっているなら2日間10時間コースが絶対おすすめ！

¥185000（経費などは込みです）で十分な調査が可能です！

今すぐお問合せ

[\(株\)プライベートアイ](#)

**0 1 2 0 - 5 3 - 1 2 4 0**